

公益財団法人 臨床薬理研究振興財団
2022 年度 事業計画

2022 年度事業計画

1) 研究奨励金等交付金の交付 合計 5,400 万円

選考委員会で選考され、理事会で決定された交付対象者に研究奨励金等を交付する。

① 募集方法

- ・研究奨励金：募集案内を全国の研究機関に送付、また学術雑誌、関連学会、財団 Web サイトに掲示
- ・海外留学助成金：本財団の理事、評議員および学識経験者に推薦依頼状を送付

② 募集期間：6 月～8 月

③ 交付件数

・研究奨励金	20 名 (1 名 200 万円)	4,000 万円
・海外留学助成金		1,400 万円
2022 年度交付対象者	2 名 (1 名 350 万円)	
2021 年度からの継続交付対象者	2 名 (1 名 350 万円)	

2) 2022 年度 (第 33 回) 財団賞の交付 合計 800 万円

財団賞選考委員会で選考され、学会および財団理事会で承認決定された交付対象者に第 43 回日本臨床薬理学会学術総会(横浜, 2022 年 12 月)において盾を授与すると共に研究奨励金等を交付する。

① 募集方法：学会 Web サイトおよび学会機関誌「臨床薬理」に募集案内掲載

② 募集期間：2022 年 4 月～6 月

③ 交付件数

・学術奨励賞 (研究奨励金)	2 名 (各 300 万円)	600 万円
・学術論文賞 (副賞)	3 名 (各 50 万円)	150 万円
その他の経費：選考委員会開催費用等		50 万円

3) 研究報告集「臨床薬理の進歩」の発刊 作成費合計 800 万円

① No. 43 発刊

編集会議（4 月開催）等を経て 2022 年 6 月発刊し、全国約 1,650 か所に送付する。

掲載論文 2019 年度研究奨励金交付論文	17 編
平成 29 年度研究奨励金交付論文	1 編
海外留学助成金報告	2 編
計	20 編

② No. 44 発刊準備

研究論文等の入手を 2022 年 8 月より開始する。

掲載論文 2020 年度研究奨励金交付論文	20 編
2019 年度研究奨励金交付論文	3 編
平成 30 年度研究奨励金交付論文	1 編
海外留学助成金報告	2 編
計	26 編

4) 第 15 回 研究報告会の開催 開催費用合計 900 万円

日 時：2022 年 11 月 15 日(火)

場 所：経団連会館（ハイブリッド開催）

出席者：理事、監事、評議員、選考委員、全国の臨床薬理研究に関する有識者、
第 15 回 研究大賞受賞者、第一三共(株)研究開発部門 等

スケジュール（案）：

14:00～15:00	理事会
15:30～19:00	研究報告会
第 1 部	研究大賞受賞者表彰式
第 2 部	研究報告会
第 3 部	情報交換会

5) 第 6 回 臨床薬理学集中講座の開催 開催費用合計 820 万円

2020 年度の臨床薬理学集中講座は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、中止となりましたが、2021 年度は、初めての WEB 開催にチャレンジし、新たなエビデンスを確立いたしました。2022 年度は、ポストコロナを見据え、ハイブリッドでの開催にチャレンジいたします。

開講の趣旨：

医療の中で薬物療法とそれを支える臨床薬理学の重要性が益々高まっており、臨床薬理学の将来を担う人材の育成が求められています。本講座は、若手の医師および薬剤師等が臨床薬理学を体系的・集中的に研鑽する場として、薬物療法の基本を実践し、臨床試験を通じたエビデンスの創造・発信のできる医療従事者・研究者の育成を目指して開講します。

開催日時：2022 年 8 月 5 日(金) 8:00 ～ 8 月 7 日(日) 14:20

場 所：NEXUS HAYAMA（第一三共株式会社 研修施設）（ハイブリッド開催）

内 容：講義として「臨床薬理学とは」、「臨床試験デザイン」、「研究倫理」、「生物統計学」、「薬理遺伝学」、「医薬品有害反応」、「薬物相互作用」、「バイオマーカー」、「臨床薬物動態学と薬物投与設計」、「医薬品開発・レギュラトリーサイエンス」の 10 講座を、また演習として「臨床試験企画立案演習」を実施する。

募集人数：35 名程度（集中講座実行委員会で検討）

そ の 他：受講修了者のネットワーク形成を支援するため、2022 年 12 月に開催される日本臨床薬理学会学術総会(横浜)の会期中に、集中講座受講者を主な対象としたフォローアップ・セミナーを開催することを計画している。同フォローアップ対策費用も 2022 年度収支予算として計上している。

公益財団法人 臨床薬理研究振興財団 2022年度収支予算(損益計算方式)

2022年4月1日～2023年3月31日

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	法人会計	合計予算額
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	1,724,240	6,896,960	8,621,200
基本財産受取利息	1,724,240	6,896,960	8,621,200
②受取寄付金	91,000,000	9,000,000	100,000,000
受取寄付金	91,000,000	9,000,000	100,000,000
③雑収益	1,500	0	1,500
受取利息	1,500	0	1,500
経常収益計	92,725,740	15,896,960	108,622,700
(2) 経常費用			
①事業費	(112,741,000)	(0)	(112,741,000)
給料手当	7,680,000		7,680,000
業務委託費	3,900,000		3,900,000
研究奨励金	40,000,000		40,000,000
海外留学助成金	14,000,000		14,000,000
財団賞	8,000,000		8,000,000
会議費	1,055,000		1,055,000
旅費交通費	2,851,000		2,851,000
広告費	412,000		412,000
諸謝金	2,484,000		2,484,000
賃借料	6,555,000		6,555,000
印刷製本費	8,000,000		8,000,000
通信運搬費	604,000		604,000
研究報告会費	9,000,000		9,000,000
集中講座費	8,200,000		8,200,000
②管理費	(0)	(14,630,000)	(14,630,000)
役員報酬		1,804,000	1,804,000
給料手当		1,920,000	1,920,000
業務委託費		534,000	534,000
福利厚生費		1,500,000	1,500,000
会議費		3,200,000	3,200,000
旅費交通費		1,000,000	1,000,000
諸謝金		311,000	311,000
調査費		52,000	52,000
図書費		10,000	10,000
賃借料		1,650,000	1,650,000
消耗什器備品費		100,000	100,000
消耗品費		300,000	300,000
印刷製本費		210,000	210,000
通信運搬費		308,000	308,000
減価償却費		1,009,000	1,009,000
支払会費		10,000	10,000
租税公課		412,000	412,000
雑費		300,000	300,000
経常費用計	112,741,000	14,630,000	127,371,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 20,015,260	1,266,960	△ 18,748,300
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 20,015,260	1,266,960	△ 18,748,300
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 20,015,260	1,266,960	△ 18,748,300
一般正味財産期首残高			122,438,988
一般正味財産期末残高			103,690,688
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
一般正味財産への振替額			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			965,799,000
指定正味財産期末残高			965,799,000
III 正味財産期末残高			1,069,489,688